

令和6年度生活支援体制整備事業市町村事例発表会 実施要項

1 開催目的

高齢者が自分らしく住み慣れた地域での暮らしを続けられるよう、県内全市町村では生活支援コーディネーターと協議体が配置・設置され、高齢者を含む住民同士の支え合いや地域づくりを推進しています。生活支援体制整備事業の目的や県内における協議体の取組等について関係者間で共有し、多様な主体が参画した支え合いの地域づくりが推進されるよう開催するものです。

2 日 時 令和6年9月30日（月）午後1時30分から午後4時まで

3 場 所 JAビル宮城 11階 大会議室
宮城県仙台市青葉区上杉1丁目2-16

4 対 象 市町村担当者、生活支援コーディネーター、協議体メンバー、生活支援体制整備事業に係る協議体に関心のある方等

5 定 員 100人程度

6 参加費 無料

7 開催方法 参集型

8 主 催 宮城県保健福祉部長寿社会政策課
宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局

9 内 容 別紙参照

10 申込方法 下記 Google フォーム URL からお申込みください。

URL : <https://forms.gle/QUWX94tipyYv6PMC9>

右記QRコードもご利用いただけます。

（申込期限 令和6年9月20日）



11 申込み・問合せ先

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎8階

TEL 022-739-9894/FAX 022-739-9842 [担当：高橋・斎藤]

内 容

時 間	内 容	
13:00~	受付開始	
13:30	開会	オリエンテーション・趣旨説明 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 事務局
13:35	行政説明（5分）	生活支援体制整備事業について 宮城県保健福祉部長寿社会政策課地域包括ケア推進班
13:40	講義（30分）	テーマ「地域のありたい姿を目指す際に協議体を活用するポイントについて」 協議体の意義や期待することを確認した上で、現状との違いを整理し、協議体活用のポイントについて理解を深めます。 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 議長 東北こども福祉専門学院 副学院長 大坂 純 氏
14:10	事例報告	地域のありたい姿を目指して協議体をどのように活用したか、これまでの経過や委員、会議自体の様子について発表いただきます。 ○栗原市の協議体事例について 栗原市 市民生活部 介護福祉課 佐藤 舞氏 栗原市社会福祉協議会 栗駒支所 生活支援 Co 工藤 一恵氏 〃 高清水支所 生活支援 Co 三塚 美穂氏 ○南三陸町の協議体事例について 南三陸町 地域包括支援センター 技術主幹 永沼 直子氏 南三陸町社会福祉協議会 生活支援 Co 芳賀 裕子氏 〃 生活支援 Co 千葉 ユミ氏
14:50	質疑応答	
15:00	休憩（5分）	
15:05	グループワーク（50分）	○わがまちの協議体について（最近の目的やテーマ、回数、メンバー、悩み等） ○講義・事例を聞いて感じたことを共有するとともに、上手くいっていること、悩んでいることについて意見交換をします。
15:55	講評	宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 議長 東北こども福祉専門学院 副学院長 大坂 純 氏
16:00	閉会	宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 事務局